

# ～地域づくり加速化事業について～

令和4年5月

中国四国厚生局地域包括ケア推進課

# 目次

1. 地域包括ケアシステムの構築について

2. 地域支援事業の全体像

3. 令和4年度 地域づくり加速化事業

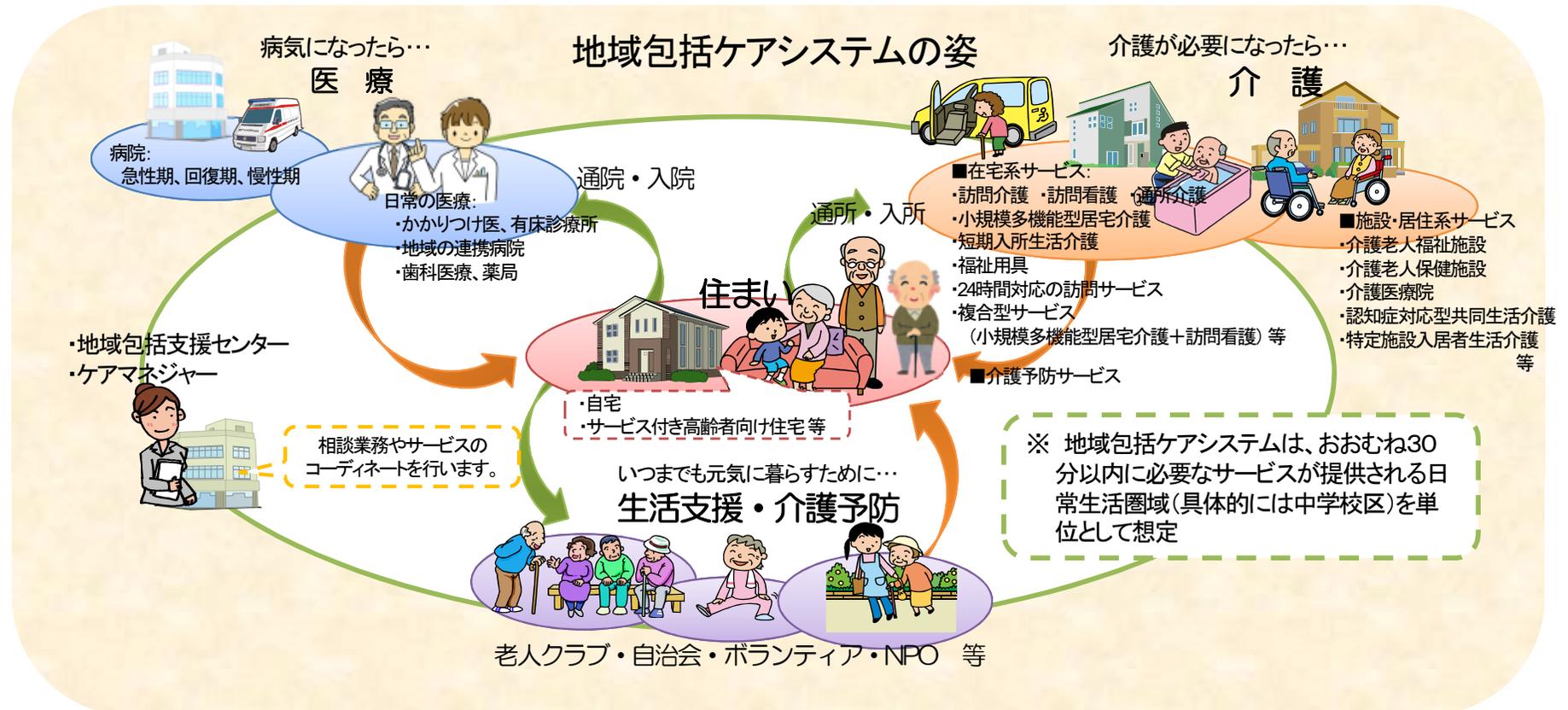
4. 伴走支援のイメージについて

参考 令和3年度の伴走支援の取組等のご紹介

# 1. 地域包括ケアシステムの構築について

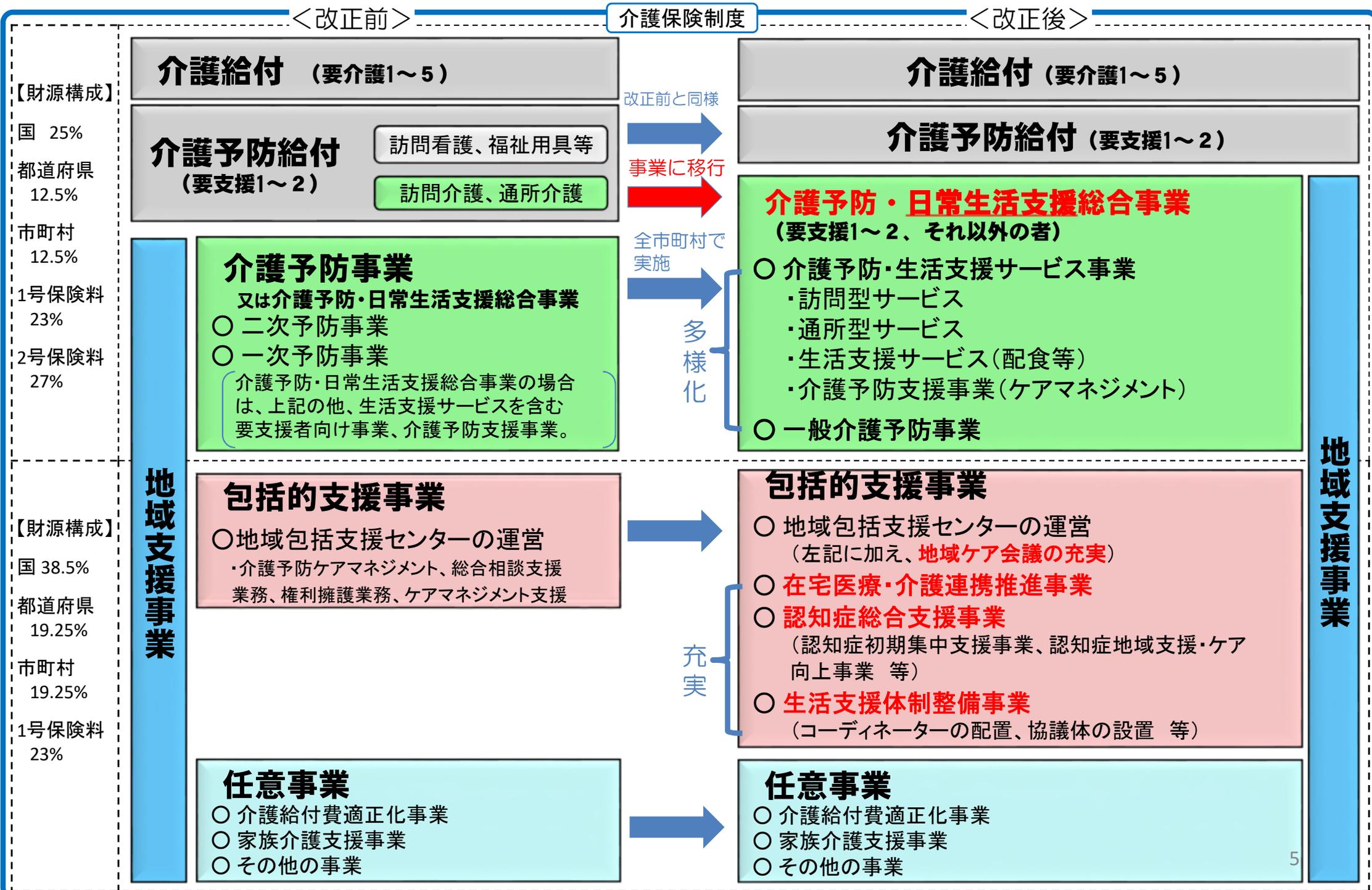
# 1. 地域包括ケアシステムの構築について

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制(地域包括ケアシステム)の構築を実現。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差。**
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。**



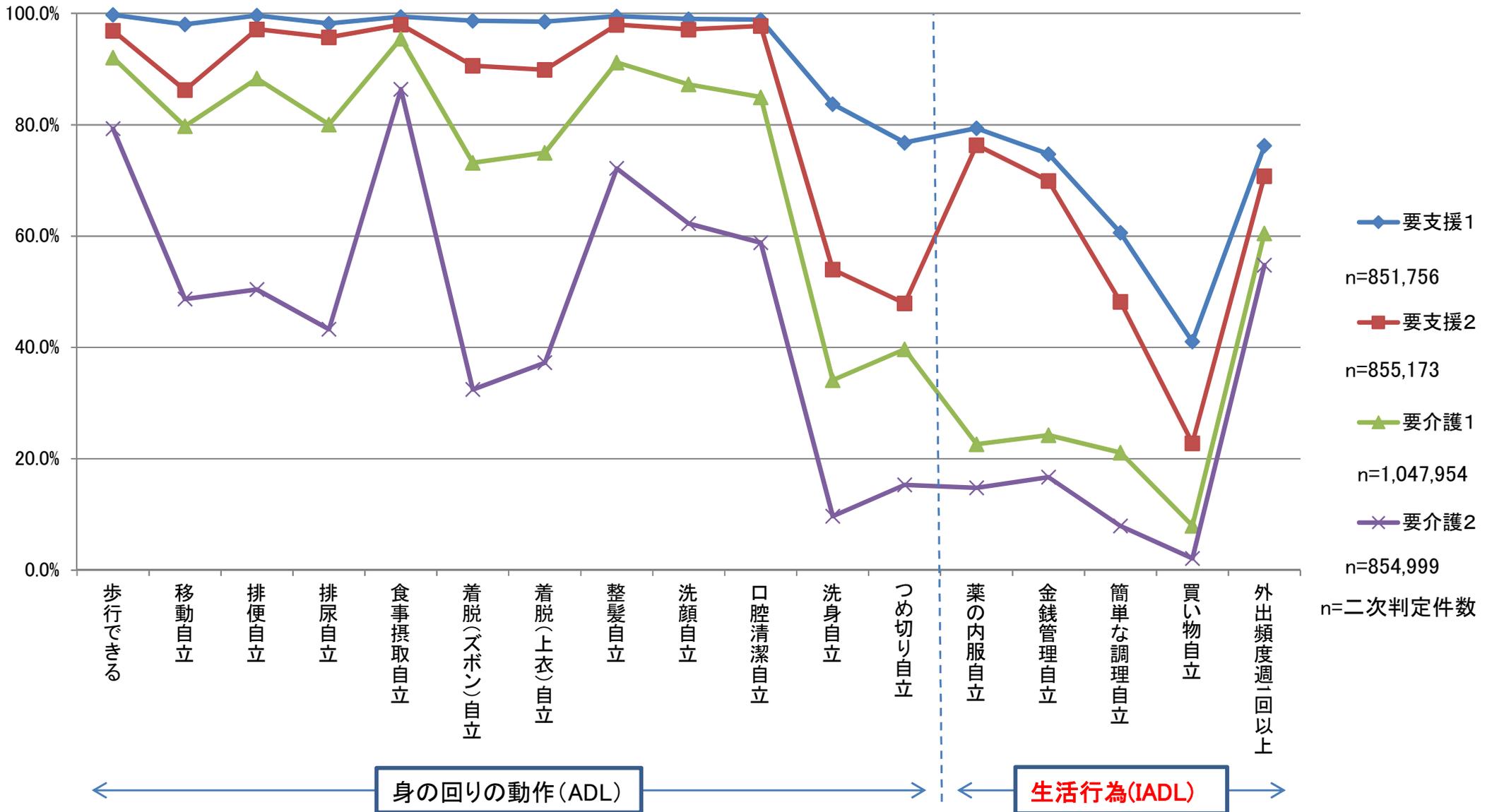
## 2. 地域支援事業の全体像

## 2. 地域支援事業の全体像



# (参考)要支援1～要介護2の認定調査結果

要支援者のほとんどは、身の回りの動作は自立しているが、買い物など生活行為の一部がしづらくなっている。

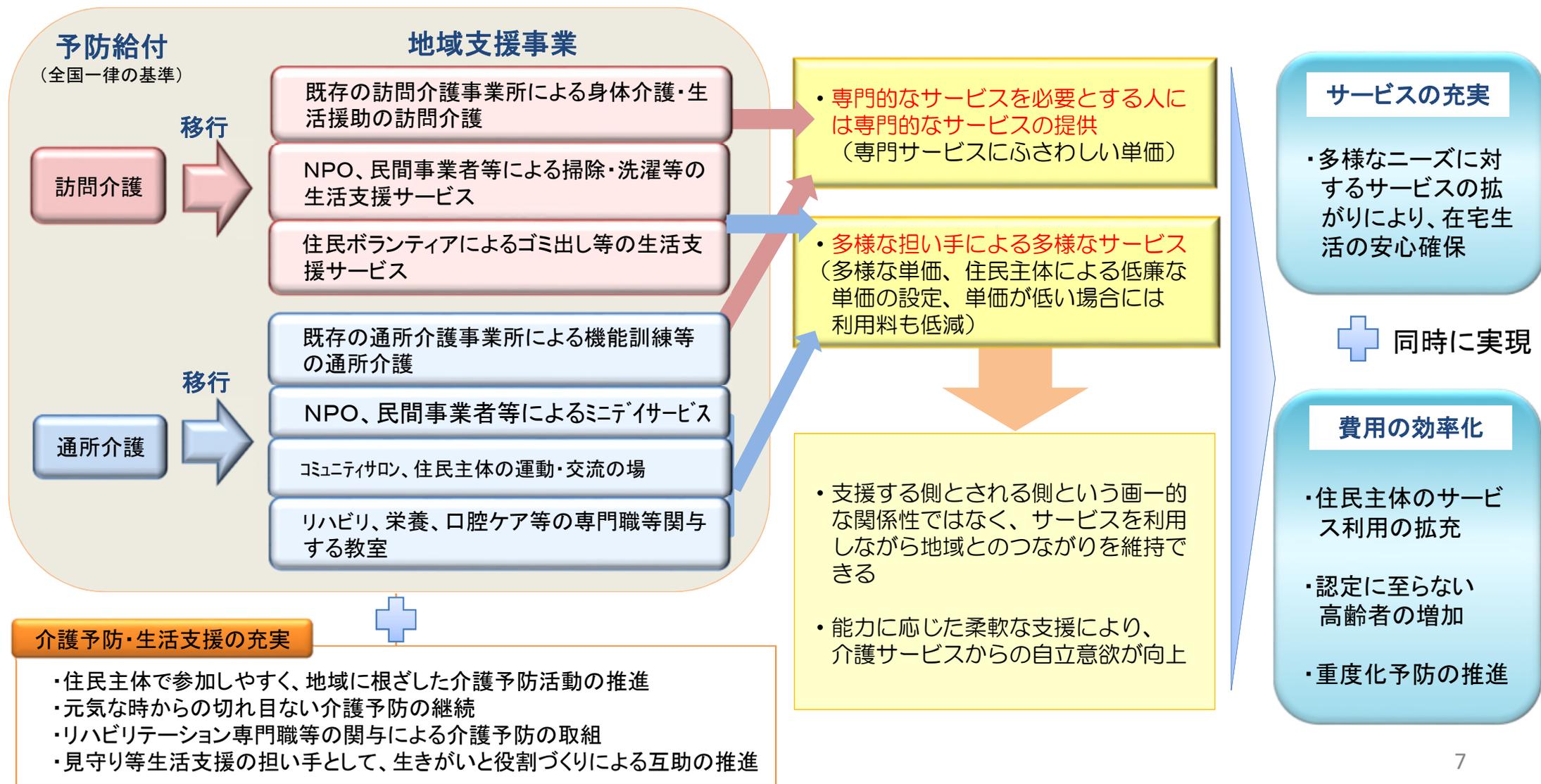


※1 「歩行できる」には、「何かにつかまればできる」を含む。

※2 平成23年度要介護認定における認定調査結果(出典:認定支援ネットワーク(平成24年2月15日集計時点))

# 総合事業と生活支援サービスの充実

- 予防給付のうち訪問介護・通所介護について、市町村が地域の实情に応じた取組ができる介護保険制度の地域支援事業へ移行(29年度末まで)。財源構成は給付と同じ(国、都道府県、市町村、1号保険料、2号保険料)。
- 既存の介護事業所による既存のサービスに加えて、NPO、民間企業、ボランティアなど地域の多様な主体を活用して高齢者を支援。高齢者は支え手側に回ることも。



# 総合事業を構成する各事業の内容及び対象者

## (1) 介護予防・生活支援サービス事業(サービス事業)

- 対象者は、制度改正前の要支援者に相当する者。
  - ① 要支援認定を受けた者
  - ② 基本チェックリスト該当者(事業対象者)

事業	内容
訪問型サービス	要支援者等に対し、掃除、洗濯等の日常生活上の支援を提供
通所型サービス	要支援者等に対し、機能訓練や集いの場など日常生活上の支援を提供
その他の生活支援サービス	要支援者等に対し、栄養改善を目的とした配食や一人暮らし高齢者等への見守りを提供
介護予防ケアマネジメント	要支援者等に対し、総合事業によるサービス等が適切に提供できるようケアマネジメント

- ※ 事業対象者は、要支援者に相当する状態等の者を想定。
- ※ 基本チェックリストは、支援が必要だと市町村や地域包括支援センターに相談に来た者に対して、簡便にサービスにつなぐためのもの。
- ※ 予防給付に残る介護予防訪問看護、介護予防福祉用具貸与等を利用する場合は、要支援認定を受ける必要がある。

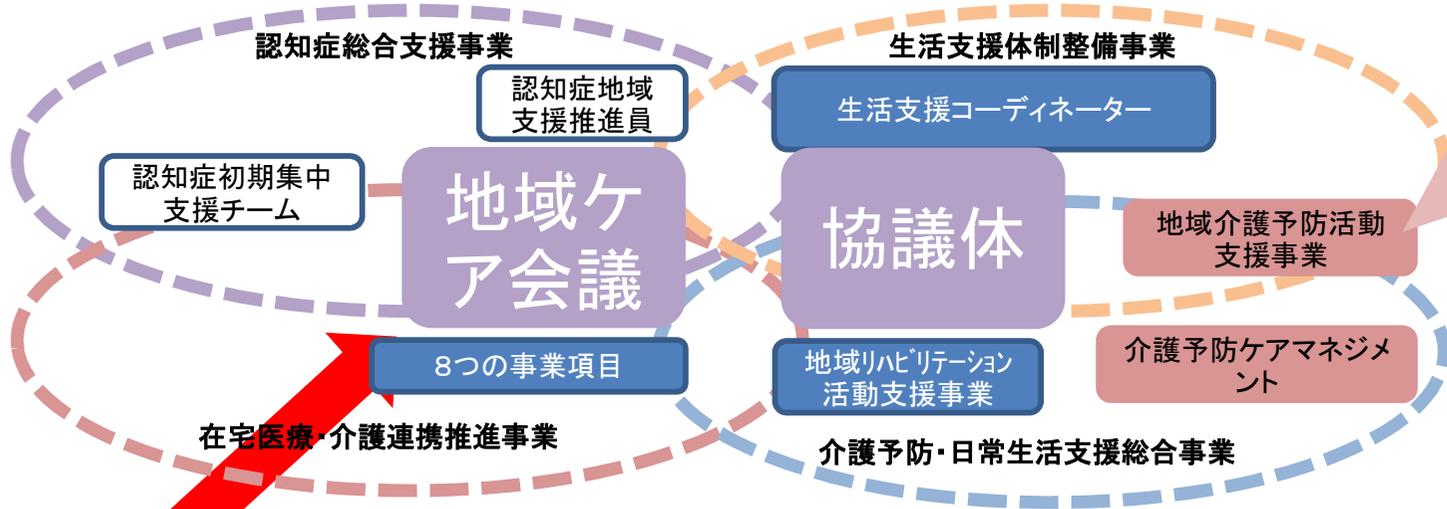
## (2) 一般介護予防事業

- 対象者は、第1号被保険者の全ての者及びその支援のための活動に関わる者。

事業	内容
介護予防把握事業	収集した情報等の活用により、閉じこもり等の何らかの支援を要する者を把握し、介護予防活動へつなげる
介護予防普及啓発事業	介護予防活動の普及・啓発を行う
地域介護予防活動支援事業	住民主体の介護予防活動の育成・支援を行う
一般介護予防事業評価事業	介護保険事業計画に定める目標値の達成状況等を検証し、一般介護予防事業の評価を行う
地域リハビリテーション活動支援事業	介護予防の取組を機能強化するため、通所、訪問、地域ケア会議、住民主体の通いの場等へのリハビリ専門職等による助言等を実施



# 地域支援事業の連動性が重要！



個々で事業展開されがちであるが、すべての事業が**連動**している！  
つながりを意識した事業展開を行うことが大切である。



地域ケア会議は個別ケースの検討を重ねることで地域の課題解決にもつながっている。

まだまだ、認知症の理解促進には至っていないね。

集いの場がまだまだ少ないね。



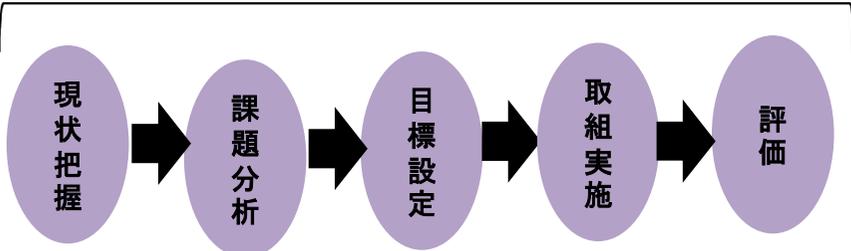
【地域ケア個別会議でよく出るつぶやき】

- ・地域の方の認知症理解がまだまだ不十分
- ・ちょっとした声かけ、見守れる人が必要
- ・認知症と聞くと家族が困惑する。正しい情報提供が必要。
- ・虐待を受ける高齢者の多くが認知症、家族支援が必要。

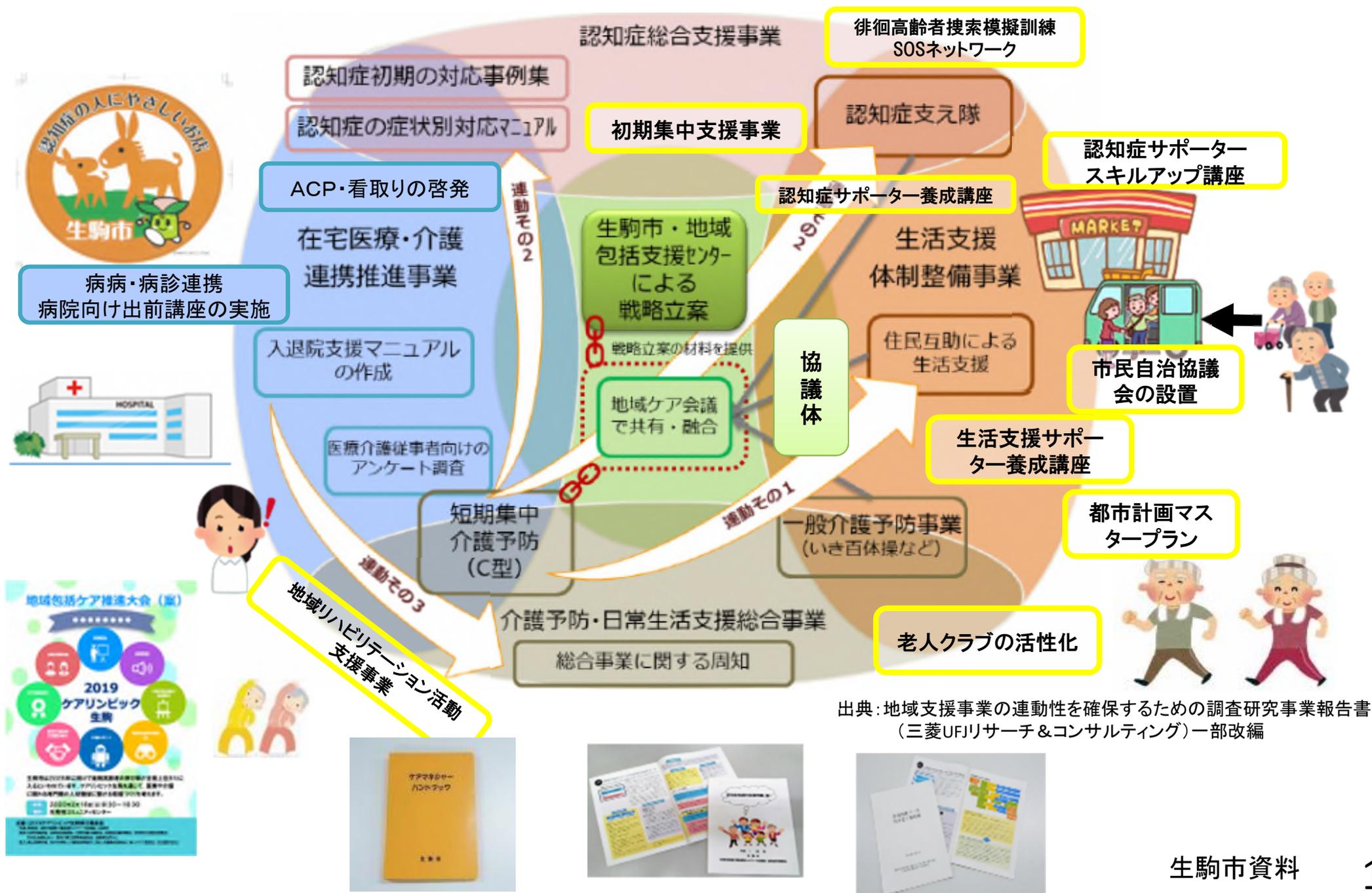
PDCAを包括、コーディネーター等と**共有**しながら展開。現場の意見をくみ取ることが大切！

まさに、**地域づくりの宝箱！**

サロンに行きたいのに、その日を忘れて参加できないのは何とかできないかな。



# 地域包括ケアシステムの構築に必要な地域支援事業の連動性



出典: 地域支援事業の連動性を確保するための調査研究事業報告書 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング)一部改編

### 3. 令和4年度 地域づくり加速化事業について

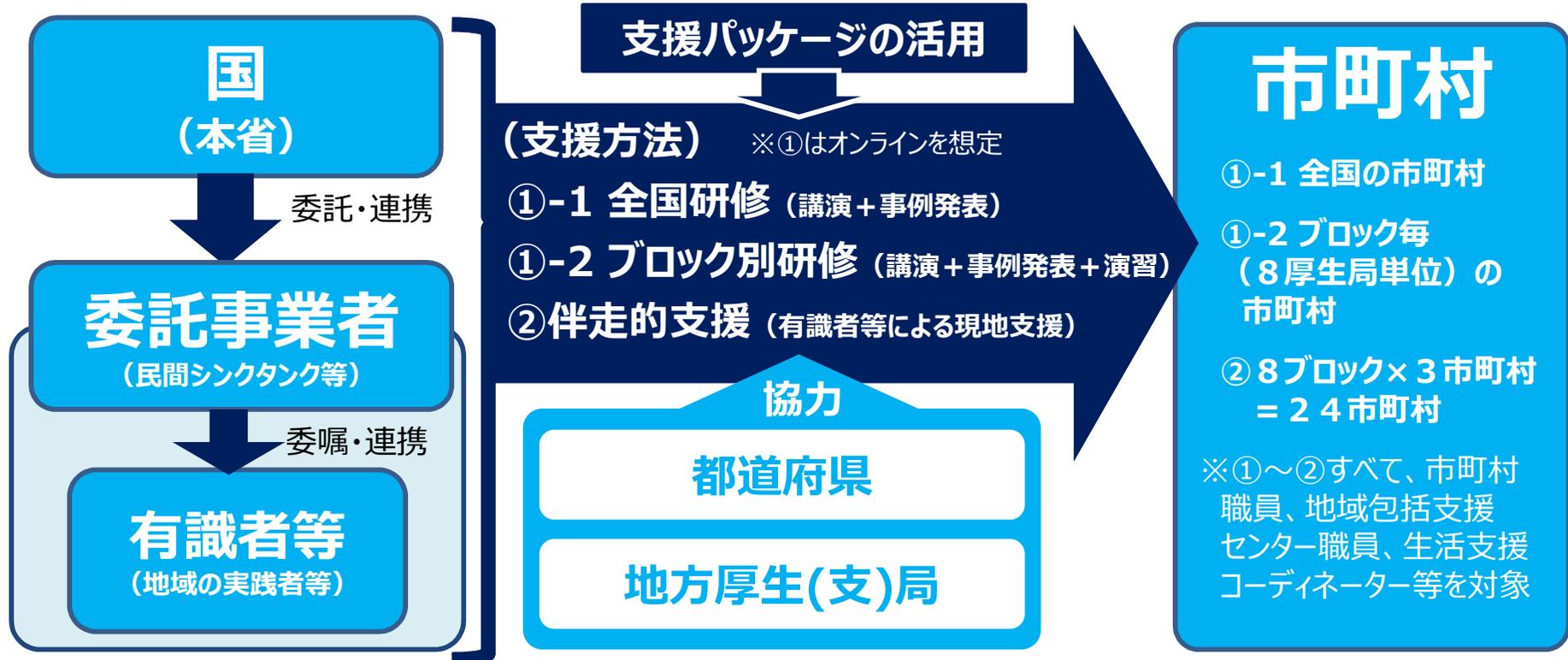
# 地域づくり加速化事業

(項) 介護保険制度運営推進費 (目) 要介護認定調査委託費 令和4年度予算額 75,000千円 (新規)

## 事業概要

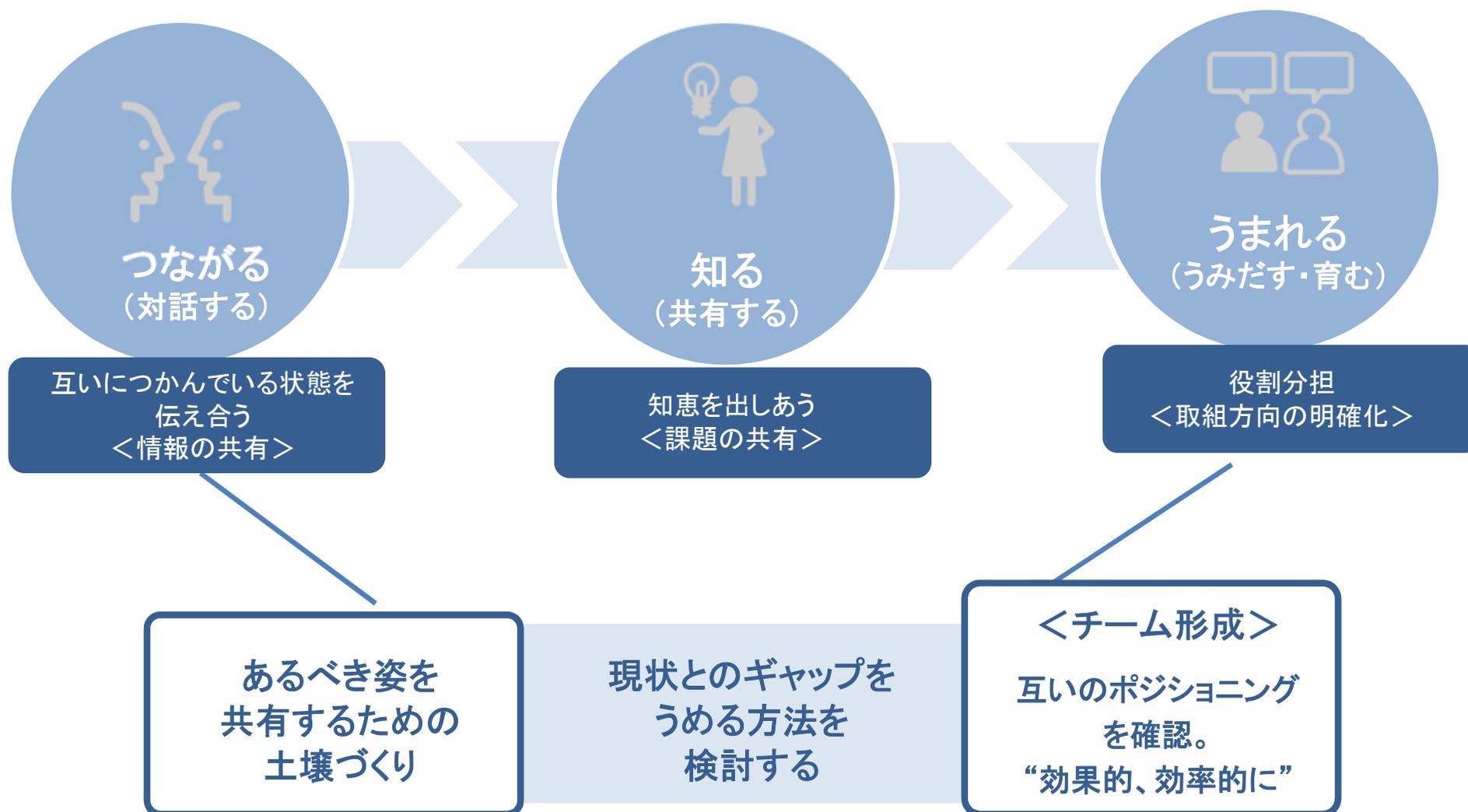
- 団塊世代（1947～1949年生）が全員75歳以上を迎える2025年に向けて地域包括ケアシステムの構築を図るため、市町村の地域づくり促進のための支援パターンに応じた**支援パッケージ**を活用し、**①有識者による市町村向け研修（全国・ブロック別）**や**②個別協議を実施しているなど総合事業の実施に課題を抱える市町村への伴走的支援**の実施等を行うものである。
- 支援の実施にあたっては、地域偏在が起きないように留意するとともに、都道府県及び地方厚生（支）局の担当者も参加することにより、本事業が終了した後も、支援実施のノウハウが継承されていくよう取り組みを進める。

## <事業イメージ>



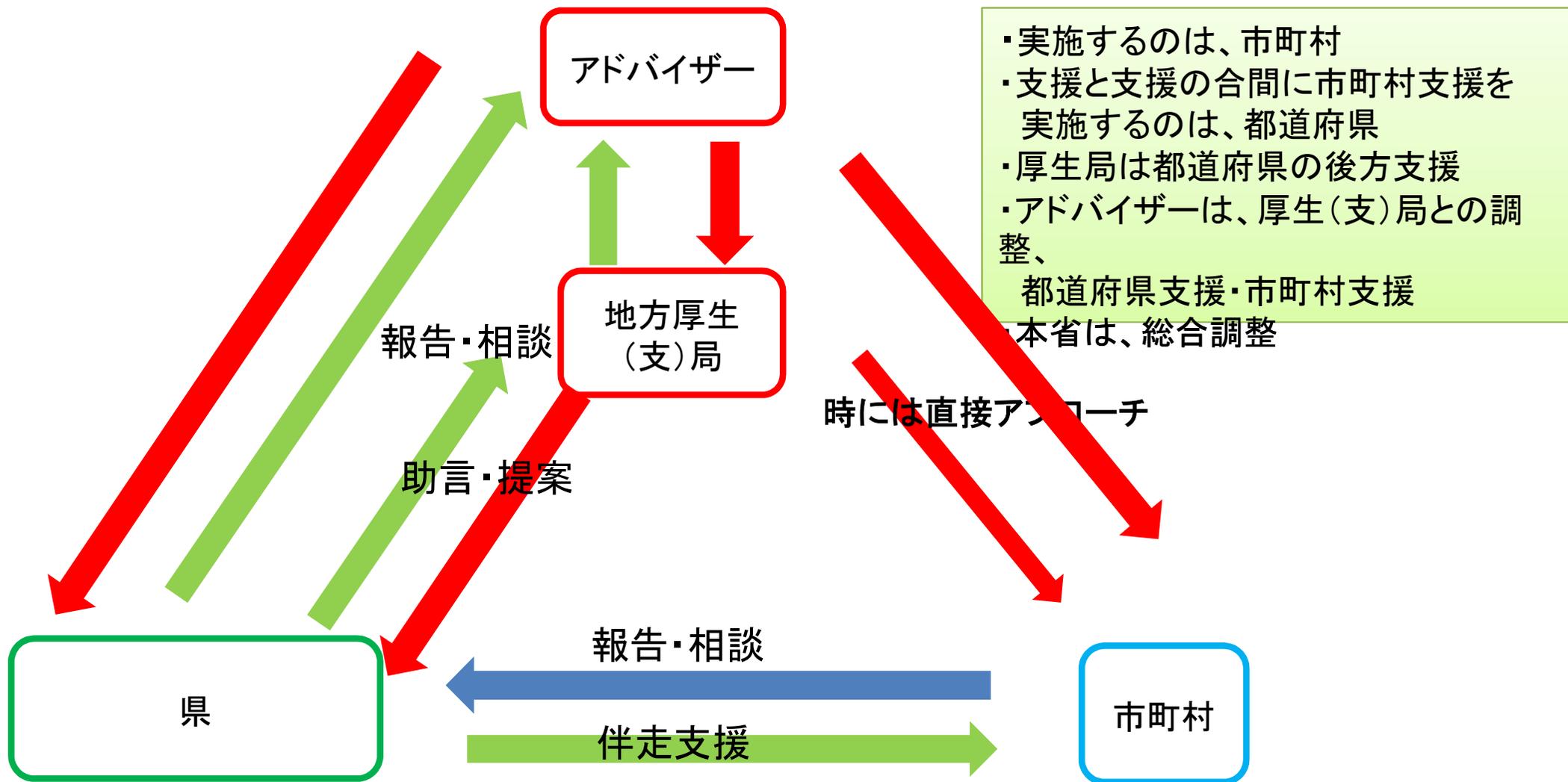
## 4. 伴走支援のイメージについて

## 伴走支援で、確認できた 3つのプロセスを意識して対話(支援)を行う



第3者が介入することにより、「つながる」「知る」「うまれる」に発展していくプロセスを踏むきっかけが作れる  
この3つのプロセスを意識して、市町村が関係機関・者とチーム作りができるようサポート！

# 市町村支援における支援体系図



市町村支援については、基本的には「アドバイザー」「厚生(支)局」「都道府県」が1チームを結成  
支援内容によって、役割分担やアプローチ方法を検討する

# ご清聴ありがとうございました



出典：平成28年3月 地域包括ケア研究会報告書より

咲かそう、地域包括ケアの花！

厚生労働省HP「地域包括ケアシステム」  
もぜひご覧ください

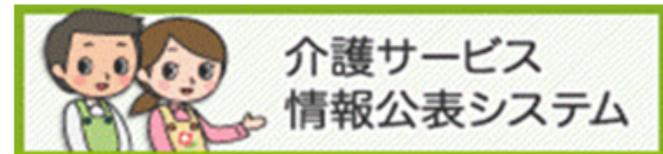
地域包括ケアシステム

検索

クリック

「地域包括ケアシステム」で検索してください。

介護事業所を検索するなら



**参考 令和3年度の伴走支援の取組等のご紹介**

# R3年度 介護予防・日常生活支援総合事業等の充実のための厚生労働省職員派遣事業 支援対象市町村一覧

## ◆ 7厚生（支）局・16道県・22市町村

◆ 希望する支援内容及び都道府県・市町村の取組状況を鑑み、支援回数ごとに**グループA（3回の訪問）**、**グループB（1回の訪問）**に分類。

グループ	厚生局	都道府県	市町村
A	北海道	北海道	新篠津村
A	東北	秋田県	能代市
A	東北	秋田県	横手市
A	関東信越	千葉県	東金市・富津市
A	関東信越	長野県	長野市
A	関東信越	長野県	辰野町
A	関東信越	新潟県	長岡市
A	関東信越	山梨県	中央市
B	関東信越	埼玉県	深谷市
B	関東信越	埼玉県	川越市
A	東海北陸	静岡県	西伊豆町
A	東海北陸	静岡県	富士宮市
A	東海北陸	三重県	紀北町
A	中国四国	広島県	大竹市
A	四国	徳島県	小松島市
B	四国	愛媛県	管内市町村向けの集合研修を予定
A	九州	佐賀県	神埼市
B	九州	熊本県	あさぎり町
B	九州	熊本県	宇城市
B	九州	宮崎県	宮崎市
A	九州	鹿児島県	長島町
A	九州	鹿児島県	日置市

# 関係機関・者の力を借りて 冬季限定の「通いの場」応援事業！

## 北海道新篠津村

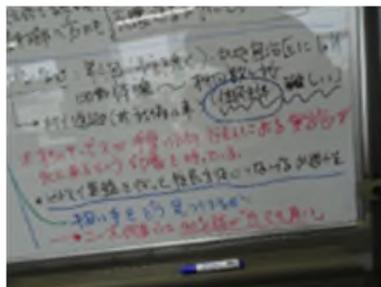
春から秋にかけては、農作業を行う人達が多い  
冬になると豪雪・吹雪がすごく、外出が困難な土地柄

冬の間には体力をしっかりと維持して春からも元気に！

初回支援：住民の方の免許返納後の生活の利便性を考えたい！  
担当課職員(直営包括)を中心にあるべき姿と現状の確認を行う

第2回目支援：地域の実態、皆さんの声を聞いてみよう！

- ・冬は雪がすごくて家にいる時間が増えてしまう！
- ・春から元気に農作業するための体力蓄えることが大事！
- ・社会福祉法人、社会福祉協議会、SCも会議に参加！



みんなで  
新篠津村の  
冬越えを  
考える！

会議終了後も次回に向けた  
打ち合わせは続く！

第3回目支援：住民ボランティア、通所A事業所も+αしてみんなで検討。  
冬に限定した通いの場をみなさんと協力して作っていきたい！

### 【村の強み】

- ・スーパーボランティアさんがいる
- ・事業所もある
- ・高齢になっても農作業される方々が多い
- ・体力を維持し、春を迎えられるように、冬をどう過ごすかが重要！



### 【実証実験をトライ！】

- ◆この冬、村では初めてとなる【送迎付き通いの場】
- ①いきいき百歳体操自主グループ
- ②畑ができる体力づくりグループ

気づき！ 冬季限定



北海道初！新篠津村発信

# 事前DVD視聴、グラレコ活用、規範的統合に向けた支援

## 秋田県横手市

生活支援体制整備事業を効果的に展開できるよう職員の資質向上・地域支援事業の連動を意識した関係者の連携体制の強化を図りたい！

事前に協議体の様子を共有（DVD視聴してからの支援）

**初回支援**：悩みを抱える3協議体の様子を事前に録画。DVD視聴して支援に臨む。ファシリテートに悩みを持つSCに向け、ロールプレイで協議体の運営場面を展開！その後、包括と市と意見交換。



**第2回目支援**：規範的統合を目指すグループワークを展開  
図式化 → 話し合った内容の見える化を図る



**第3回目支援**：地域包括ケアに関することや事業間連動について講話を行う



意見交換会では、積極的な意見が複数聞かれ、担当業務を超えた連携が実現できると関係者の核心につながる！

番外編  
上限額の  
課題等に  
触れる！



みんなの知恵が集合！

いろいろ取り組んでいる  
もっとつながりたい！

# 高齢化率50.9% 介護サービスの休止・閉鎖も増えている 総合事業は上限額越え、課題が山積

## 静岡県西伊豆町

自立支援へ繋げるサービスの利用へ至っていない現状を改善したい！

**初回支援**：オンラインでの開催で、市・県・厚生局・本省が別々の会場であったが、西伊豆町の関係者の声を集めていく



西伊豆町長や町健康福祉課職員、社協、包括、地域おこし協力隊も参加。厚労省からは地域包括ケアシステムの構築について講話し、これまでの町の取組と課題について報告を受けた後、皆で意見交換を実施。伴走支援の目的を十分理解できていない参加者もいたため、少し緊張感がある雰囲気。

**第2回目支援**：コアメンバーで、まず前回の振り返りから行い、地域包括ケアに必要な要素について、グループワークその後、規範的統合にプチ講話(本省)その後、上限額超問題等について事業の棚卸しを試みる！



規範的統合ができていない中で、通所Cを構築するのはリスクが高いことを共有。上限額超の対策として棚卸しをまず、助言！

**第3回目支援**：午前は、ケアマネジャーと通いの場リーダーとの交流  
午後からは、中長期的なロードマップ作成を目指す！



交流会の後の体操

グループワーク：中長期視点



通いの場の大切さを講話

(気付き)  
・バックデータ不足により、目標の設定が難しい事態となったが、今後どのようなデータが必要なのか知ることができた。  
・ケアマネが通いの場に関心を高く示した様子が伝わった

事業名	計画	実績	差
地域包括ケアシステム構築事業	1000万円	1200万円	200万円超
介護予防事業	500万円	480万円	20万円減
認知症対応型共同生活介護	300万円	320万円	20万円超
介護職員処遇改善	200万円	210万円	10万円超
地域包括ケアシステム構築事業	1000万円	1200万円	200万円超
介護予防事業	500万円	480万円	20万円減
認知症対応型共同生活介護	300万円	320万円	20万円超
介護職員処遇改善	200万円	210万円	10万円超

総合事業の上限額  
削減目標  
費用対効果  
利用者フォロー



削減目標〇〇〇万に対して、ほぼ解決できそうな案が浮上  
・一般介護予防事業の普及啓発予算の棚卸し  
⇒ 参加者を奪い合うような状況が垣間見えた  
⇒ 同じ人がいくつも講座を受けていることなどが見えてきたことから、事業全体の洗い出し  
・合わせてケアマネジメントの質向上を図る！

# 地域課題の解決に向け、庁内連携推進会議への旗揚げ！ win-winが鍵となる！

## 鹿児島県日置市



初回支援: 日置市長も意見交換会に参加



地域ケア個別会議を大切にしてきた結果、  
地域課題が複数まとまってきたが次への展開に悩む  
日置市担当課&地域包括支援センター等



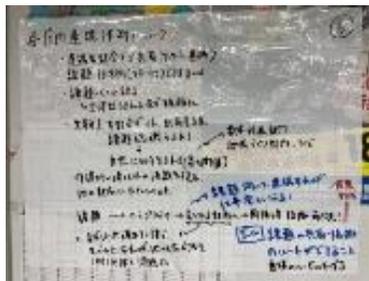
第2回目支援: 担当課だけでは解決できない問題が  
多々あるため、庁内連携会議に向けた旗揚げが必要！



どんな戦略を立てるか？



地域ケア個別会議  
から抽出された、  
地域課題の解決  
に向け、他課にも  
協力を依頼したい！

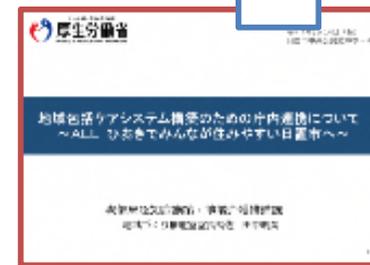


午後からは今後の進め方を検討

市長や3役、管理職が  
集った研修では多くの  
気づきが生まれました！



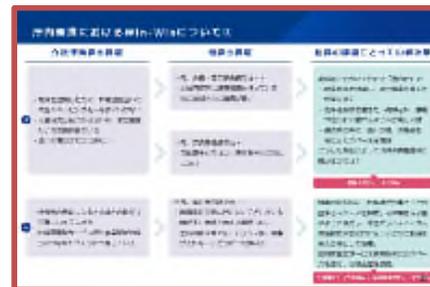
第3回目支援: ALLひおきでみんなが住みやすい日置市へ



どんな風に旗揚げすれば、関係各課が動いてくれる？  
みんな忙しい！巻き込まれ感なく、一緒に取り組めるようにするにはどうしたらいい？  
Win-winの関係構築・・・こうした事例をたくさん紹介



講話の後は、意見交換 たくさんの意見が出てきました！



# 総合事業等の充実のための 厚生労働省職員派遣による支援事業

やってみよう!ぐるぐるつながるコミュニティデザイン

～みんながつながりたくなる地域づくりの3つのプロセス～



令和2年度、令和3年度に展開した自治体の取組が下記URLに掲載されていますので、これらの取組をご覧ください。これにより、加速化事業における伴走支援の様子イメージが、少しおわかりいただけると思います！



令和2年度 参考にURLを記載しておきます。

① 総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）ホームページ

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000192992.html>

② 「総合事業等の充実のための厚生労働省職員派遣事業」

事業報告書と市町村の取組報告書一覧を掲載

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi\\_kaigo/kaigo\\_koureisha/00085\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/00085_00001.html)

令和3年度 参考にURLを記載しておきます。

①都道府県マニュアル ②事業報告書と市町村の取組報告書一覧を掲載

<https://www.jmar.co.jp/job/public/llg.html>

# 令和3年度老人保健健康増進等事業

令和3年度に実施した老人保健健康増進等事業の報告書等が下記URLに掲載されていますので、これらの調査研究報告をご覧いただくことで、各自治体における様々な取り組みが、少しおわかりいただけるとと思います！



令和3年度 報告書のURLを参考に記載しておきます。

- ①「地域公共交通の活性化とも連携した住民互助による移動支援サービスの普及方策に関する調査研究事業」ホームページ

<https://www.fujitsu.com/jp/group/fri/report/elderly-health/2021regionalpolicy1a.html>

- ②「中山間地域等における地域づくりと介護予防の取組におけるフェーズごとの課題抽出及びその解決のための実践手法の開発に関する調査研究事業」ホームページ

<https://ubdobe.jp/news/1593/>

- ③「認知症の人のおもいを反映した地域づくりの手法に関する調査研究事業」ホームページ

[https://www.mizuho-rt.co.jp/case/research/r03mhlw\\_kaigo2021.html](https://www.mizuho-rt.co.jp/case/research/r03mhlw_kaigo2021.html)